

平成25年('13) 2/25

第72号

火事と救急は

局番なし119番

消防だより

発行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町1丁目21-6

吹田市消防本部内

電話(06)6193-0119(代表)

平成24年度全国統一防火標語

『消すまでは 出ない行かない 離れない』



自衛消防隊 消防学校一日体験入校

火災のない明るい吹田市を築きましょう

平成25年 年頭のご挨拶



吹田市防火連合会
会長 青木 賢吉

輝かしい平成25年（2013年）の新春を迎え、皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

吹田市防火連合会の会員の皆様におかれましては、平素から地域社会の安全確保に多大なるご尽力を賜り、ここに深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと国内全般においては、長引くデフレ不況、景気の低迷、遅れる東日本大震災の復興関連問題、また、地球温暖化の影響か、各地で集中豪雨等の自然災害が多く発生し、改めて自然の脅威と対策の重要性を痛感したことは記憶に新しいところでございます。

しかし一方で、人々の心を温かくする明るいニュースもありました。ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中教授や、ロンドンオリンピック及びパラリンピックでの日本人選手の活躍は、国民の誇りとなりました。とりわけ、団体種目で見せた日本人の固い絆・団結力は、全ての日本人に勇気と希望を与えてくれたのではないのでしょうか。

さて、前述した地球温暖化の影響なのでしょうか、相次いで発生する自然災害の多種多様化によって消防を取り巻く環境は、急流のごとく変化しております。また、今後発生する確率の高い東海地震、東南海地震、南海地震、などの大規模地震に対する備え、対策も十分に整えておかなければならず、消防に対する期待は並々ならぬものがあります。

吹田市では、防火防災はもとより、環境、教育、福祉まで市民の皆様にご実感していただける健やかで、安心・安全の都市（まち）づくりを目指しており、本会においても防火・防災面での「安心安全」を築いていくために会員事業所等の協力を得ながら、今後も事業内容の充実を図り、地域の防火・防災に役立つための活動を展開していく所存でございます。

最後になりましたが、市民の皆様をはじめ本会の会員様、事業所様、消防関係者の方々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



吹田市消防本部
消防長 松中 唯人

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、平成25年（2013年）の輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本市の消防行政全般にわたり深いご理解とご協力を賜

り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと本市にあつては、市民生活を脅かす大きな災害や事故が無かったことをまづもって感謝申し上げますとともに喜びとするところであります。

しかし、国内での災害を思い起こしてみますと5月に発生した茨城県つくば市での竜巻災害、7月には、九州北部での豪雨災害等と気象災害が各地で発生し、大きな被害がありました。

最近ではこのように気象災害が目立つ状況のなか忘れてはならないのが、東海・東南海・南海地震のいわゆる三連動地震発生の切迫性等がくり返し指摘されていることです。大規模地震災害の備えのひとつとして消防本部といたしましては、地域における防災力を向上させることが重要と考え、市民の安全確保のためには、「公助」のみでなく、個人・家庭・地域の「自助」、「共助」による地域の防災力の強化など、広範にわたる総合的な防災意識の高揚、自主防災の推進等による地域ぐるみの防災体制の確立など、市民、行政、関係機関が一体となった取り組みが必要です。

また、本市において、依然火災原因のトップであります放火についても、各関係機関との連携により地域ぐるみの放火火災防止活動の推進など全力をあげて取り組み「安心・安全の都市（まち）づくり」の実現に努める所存です。

結びに今年は、巳年ですがへびは脱皮を繰り返すことから、再生や新たな出発といった意味があるそうです。新しい年が活力に溢れ、市民の皆様をはじめ本会の会員様の笑顔が輝く素晴らしい年になりますよう心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆ 協 会 だ よ り ◆

吹田市防火連合会

11月 7日（水）防災講演会・交流会（東急イン）

吹田市建設業防火協会

12月 6日（木）役員会（消防本部）

1月 22日（火）新年会（木曽路 江坂店）

吹田市公衆集合場防火協会

11月 28日（水）役員会（消防本部）

1月 23日（水）新年研修会（木曽路 江坂店）

吹田市家庭防火クラブ連絡協議会

12月 3日（月）臨時総会（消防本部）

◆消防フェア◆

平成 24 年 11 月 5 日（月）から 11 月 9 日（金）まで、吹田市役所 1 階ホールにおいて、消防フェアを開催しました。市内の小・中学生の皆さんから応募いただいた防火標語と防火図画の作品から入選作と AED や住宅用火災警報器等の防災機器を展示して、多くの市民の方が来場されるなか防火防災に関する広報を実施しました。



消防フェアの様子

◆火災予防街頭広報◆

吹田市建設業防火協会の橋本 治会長以下会員 21 名による火災予防街頭広報が、平成 24 年秋季火災予防運動（11 月 9 日～11 月 15 日）期間中の平成 24 年 11 月 13 日（火）に吹田市朝日町の J R 吹田駅周辺で実施されました。



（左）橋本 治会長 （中）坂口 妙子副議長 （右）井上 哲也市長

◆吹田市防火連合会 研修会◆

平成 24 年 11 月 7 日（水）、吹田市豊津町の新大阪江坂東急インにおいて、吹田市防火連合会主催の研修会として、大阪学院大学教授の國定 浩一氏をお迎えして、『どうなるこれからの日本経済と安全』と題した防災講演会が開催されました。

研修会終了後、吹田市防火連合会傘下の工場危険物、建設業、公衆集合場の各防火協会と家庭防火クラブ連絡協議会また、防火さつき会の 5 団体から 100 名が参加して吹田市防火連合会交流会が盛大に開催されました。



講演会の様子

◆自衛消防隊員一日体験入校◆

平成 24 年 11 月 21 日（水）、大東市の大阪府立消防学校において、吹田市防火連合会主催の自衛消防隊員一日体験入校が行われ、13 事業所から 40 名の隊員の方が参加しました。参加隊員は、救急実技訓練、規律訓練、放水訓練等の基本的な消防訓練を受け、防火意識の高揚が図られました。



訓練の様子

平成24年度防火作品

平成24年度の防火作品（防火図画、防火標語）を募集したところ、市内の小学校、中学校の皆さんから防火標語1，178点、防火図画432点の応募がありました。

審査の結果、防火標語23点（消防長賞1点、防火連合会長賞1点、特選3点、入選5点、佳作12点、防火連合会奨励賞1点）と防火図画12点（消防長賞1点、防火連合会長賞1点、特選2点、入選3点、佳作3点、防火連合会奨励賞2点）が入賞しました。

防火標語

〔消防長賞〕

気をつけよう 最後の火まで あなたの火 佐井寺小学校4年 山下 なつみ

〔吹田市防火連合会長賞〕

火の始末 あなたの命 守ります 千里第三小学校4年 野口 乃映瑠

〔特選〕

消したはず 自信があっても 再確認
その電話 天ぷらより 大事なの
消防車 出動しない 一日を
千里第三小学校4年 福嶋 日陽
山田第一小学校4年 金岡 冬也
豊津第一小学校4年 勝部 美咲

〔入選〕

外出時 こたつにストーブ 電源OFF
消火器が 備えてあったら 二重丸
悲しみは 二度と知らない 火のこわさ
気をつけよう 小さな火でも 火事のもと
火の始末 後じゃなくて 今しよう
吹田第六小学校4年 村中 友
桃山台小学校4年 池田 義崇
千里第三小学校4年 小島 祐郁子
古江台小学校4年 深山 和
山田第二小学校4年 上里 紋加

〔佳作〕

火災はね 扇風機でも 起こるんだ
火の元を 確認したら 一安心
コンセント ほこりを取って 火事ふせぐ
いつだって 出かける前に 火の用心
扇風機 経年劣化 火事のもと
やめましょう タコ足配線 火事のもと
火はまもの 小さな火でも 火事のもと
たくさんの 命を守る レスキュー隊
緊急時 声を掛け合い 避難する
火遊びを するなさせるな 絶対に
危ない火 だから毎日 火のチェック
火事のタネ 見えない所に ひそんでる
吹田第六小学校4年 尾崎 理雄
佐井寺小学校4年 柿沼 愛
佐井寺小学校4年 藤澤 茉央
佐井寺小学校4年 東谷 陽菜
千里第三小学校4年 高木 良悟
千里第三小学校4年 竹平 萌恵
古江台小学校4年 大能 千裕
山田第二小学校4年 周藤 晴香
豊津第一小学校5年 清田 彩未
豊津第一小学校4年 近藤 健太郎
南山田小学校4年 下芝 美琴
岸部第二小学校4年 坂部 奈々

〔吹田市防火連合会奨励賞〕

火事でたら 騒がず迷わず 119 南山田小学校4年 宮地 愛華

防火図画

【吹田市消防長賞】



豊津第二小学校2年 城間 琉斗

【吹田市防火連合会長賞】



片山小学校4年 福江 晏

【特選】



千里第二小学校6年 上田 瑞葵

【特選】



千里第二小学校6年 吉竹 充

【入選】



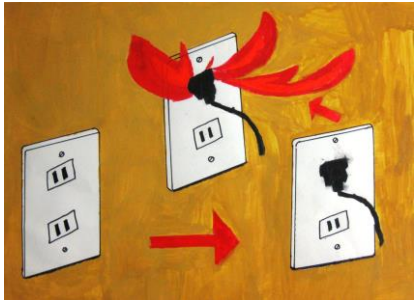
吹田東小学校5年 萩原 真唯

【入選】



吹田東小学校5年 佐藤 朋夏

【入選】



千里第二小学校6年 田能村 尚

【佳作】



千里丘中学校2年 池内 紅葉

【佳作】



山田東中学校1年 川崎 なつき

【佳作】



千里第二小学校6年 安楽 沙代

【吹田市防火連合会奨励賞】



片山小学校4年 野村 あい

【吹田市防火連合会奨励賞】



第一中学校1年 別所 ゆきの

事業所訪問

介護付有料老人ホーム パーマリー・イン緑地公園



住宅地として、人気の高い服部緑地公園前に立地する「パーマリー・イン緑地公園」。

地下1階、地上7階建ての建物の中に、全76戸の専用住居と生活施設、さまざまな介護設備が整っています。

館内は、ぬくもりを感じるサンドイエローの塗壁で色調統一、気品ある調度品をしつらえた応接スペースや壁面を飾る絵画など、贅沢に空間を構成。まるで欧州の保養地のプチホテルにのような気分で時を過ごしていただけます。

また、エレベーターには両側が開閉するダブルドア仕様機を設置。車椅子の方でも、居室から1階エントランスまで、スムーズに行き来していただくことができます。

お部屋は、全室プライバシーを重視した個室タイプ。



各階には、お二人用の広いお部屋があり、ご夫婦で悠々自適のシニアライフをおくっていただけます。安全・安心なIHクッキングヒーターを備えたミニキッチンや快適なバスルームなど、設備も充実しています。

◎介護付有料老人ホームパーマリー・イン緑地公園

〒565-0853 吹田市春日1丁目1-18

TEL 06-6378-8008 FAX 06-6378-8009

ホームページ <http://www.palmaryinn.com>

◆第 19 回危険業務従事者叙勲◆

元吹田市消防職員の荒谷 利男氏と東 利一氏は、平成 24 年 11 月 4 日(日)に著しく危険性の高い業務に精励した功績により大阪府知事から危険業務従事者叙勲を伝達されました。

また、東氏は、11 月 7 日(水)に東京都新宿区の日本青年館大ホールにおいて行われた総務省消防庁長官からの伝達式にも出席されました。



荒谷 利男氏(左) 東 利一氏(右)

◆市 民 表 彰◆

【人命救助協力】

平成 24 年 11 月 19 日(月)に吹田市泉町 5 丁目の民家で発生した火災において、井澤 治彦氏と圖差 篤樹氏の両氏は協力して 2 階ベランダに逃げ遅れた家人を冷静、沈着かつ迅速で勇敢な行動により救出した功績。



井澤 治彦氏(中左)、圖差 篤樹氏(中右)

◆平成 25 年 吹田市消防出初式◆

吹田市消防出初式が、平成 25 年 1 月 6 日(日)の午前 10 時から吹田市内本町 3 丁目神崎川右岸河川敷で、消防職員・消防団員・自衛消防隊・家庭防火クラブ・幼年消防クラブ・自主消火組織及び関係者の合計 918 名、車両 31 台が参加して挙行されました。

当日は、気温が少し低めでしたが、風のない好天に恵まれ、多くの市民の方が来場されました。式典では、吹田市のイメージキャラクター「すいたん」も参加しての分列行進、南・西署に配置されている救命ボートのデモ航行、救助訓練のほか、赤、黄、緑のカラフルな一斉放水に大きな歓声が上りました。



分列行進



救 助 訓 練

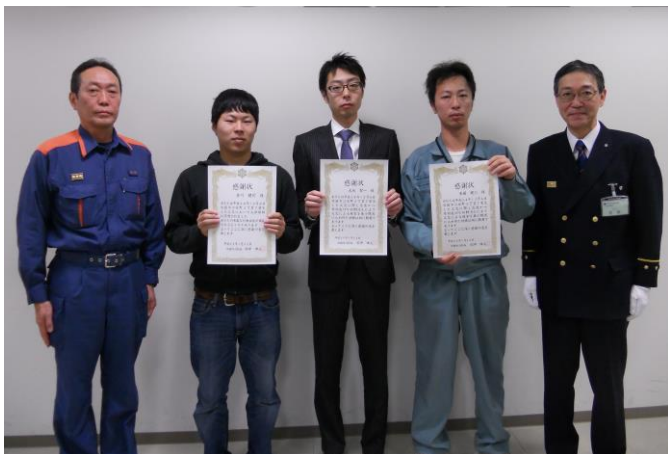


一 斉 放 水

◆市 民 表 彰◆

【初期消火協力・人命救助協力】

平成24年12月6日（木）に吹田市江坂町3丁目のマンションで発生した火災において、来田 健二氏と大坂智一氏、尾崎 悟氏の3名は消火器を持参して出火部屋の玄関から黒煙が噴き出す中、協力して迅速な初期消火を実施したことで火災の延焼拡大を阻止し被害を最小限に止めた功績。また、同火災において、吉川 健二氏は出火部屋のベランダに避難していた家人を冷静、沈着かつ迅速で勇敢な行動により救出した功績。



吉川 健二氏（中左）、大坂 智一氏（中央）、来田 健二氏（中右）

◆文化財防火デー◆

「文化財防火デー」の平成25年1月26日（土）、南消防署が、吹田市南高浜町の吹田歴史文化まちづくりセンター「浜屋敷」で吹一分団、南町自治会防火部と合同で消防訓練を実施しました。この「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基き、文化財を火災、震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民への文化財愛護思想の高揚を図るため制定されました。



訓練の様子

◆家庭防火クラブ表彰◆

平成25年1月29日（火）、大阪府立男女共同参画・青少年センターで開催された大阪府防火クラブ大会で、吹田市本郷町家庭防火クラブの山下秀会長は長年にわたり火災予防活動に貢献した功績で優良婦人防火クラブ員表彰を受賞されました。



山下 秀会長（左） 松中 唯人消防長（右）

◆防火講演会◆

平成25年2月8日（金）、吹田市内本町の内本町コミュニティセンターにおいて、元大阪市消防局警防部長の大北 雅史氏をお招きし、『歴史に学ぶ危機管理～地震あれこれよもやまばなし～』と題して、吹田市防火講演会を開催しました。



講演会の様子

吹田市火災予防条例の一部改正について

『急速充電設備』が吹田市火災予防条例で規制されています。近年、電気自動車の普及が進み、電気自動車のインフラ整備として電気自動車用の『急速充電設備』の設置が進められています。

全出力20kWを超え50kW以下のものが対象となり、『急速充電設備』の特性などを踏まえ、設置する際の位置、構造及び管理に関する基準が定められました。施行期日は平成24年12月1日でした。

今後、事業所等で設置される場合は、下記までお問い合わせ下さい。



【お問い合わせ先】 吹田市消防本部予防課

吹田市江坂町1-21-6

TEL 06-6193-1116